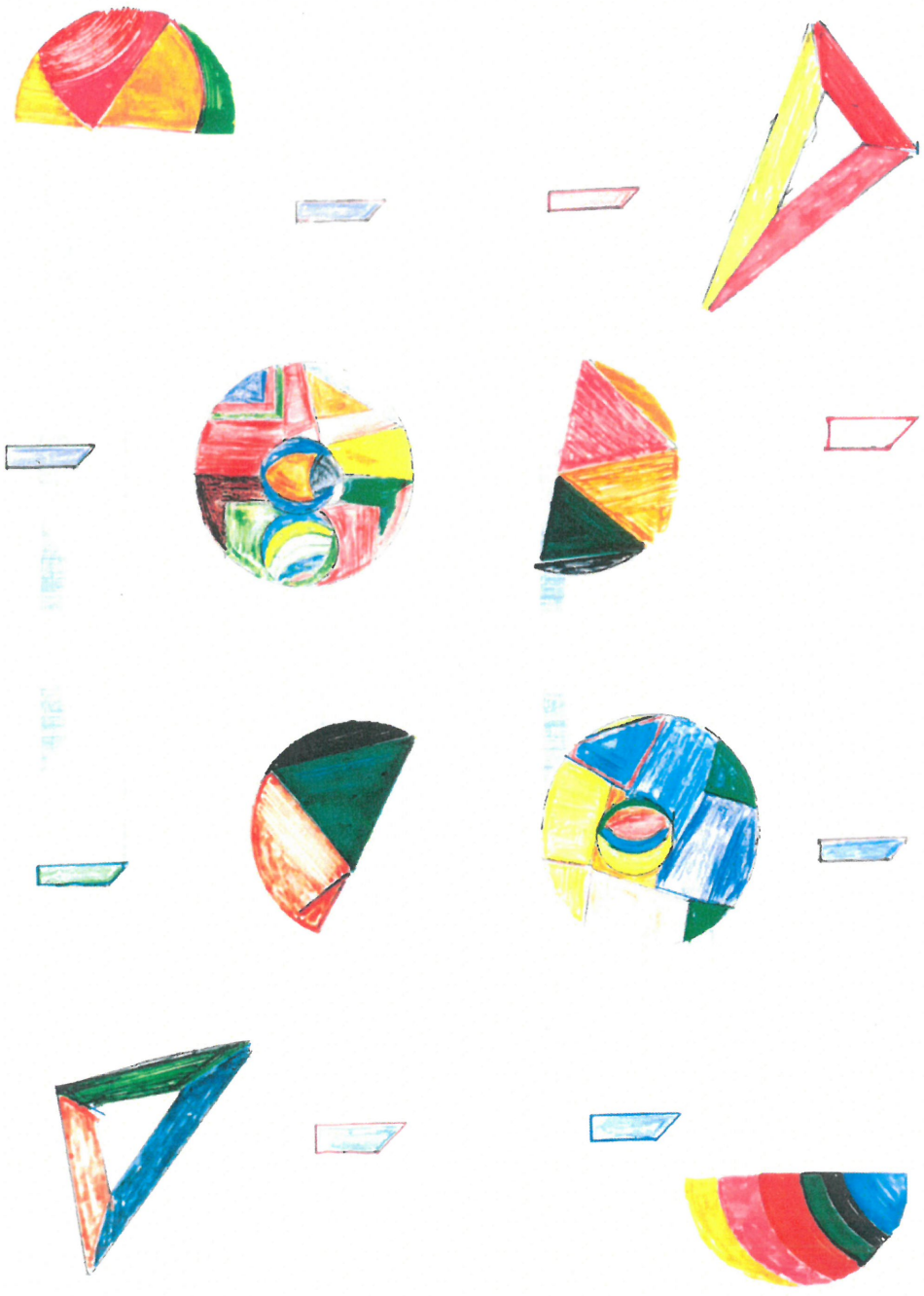
社会福祉法人

夢21福祉会

Social Welfare Corporation Yume21 Fukushikai

～ 夢 21 たより ～　　NO,1



「雨のサザン」　作：渡辺　久志(まどか工房)

事業所紹介

相鉄線・鶴ヶ峰、西谷、上星川の３駅にまたがり、５か所ある日中事業所の紹介です。

夢 21 西谷Ⅰ・夢 21 西谷Ⅳ

平成７年（1995 年）に障害者地域作業所として開所した夢 21 西谷は、今年で 23 年目を迎えました。現在は、生活介護事業と地域活動支援センターを運営しており、開所時 20 名だった利用者は、夢 21 西谷Ⅰが 38 名、夢 21 西谷Ⅳが 11 名の 49 名になりました。利用者のみなさん個性にあふれ、日々元気に通っています。

夢 21 西谷Ⅰでは、３カ所の作業場で主に菓子箱の組立、下請け作業を中心に作業を行っています。また地区センターでのコーヒーショップ、地域情報誌の帳合・配達もしています。

夢 21 西谷Ⅳでは、西谷商店街の中に店舗を構え、地域の方と交流をしながら豆腐の製造販売をしたり、ケアプラザやイベントで出張販売も行っています。国産大豆と天然にがりを使った風味豊かで味の濃い豆腐は絶品です。ぜひご賞味ください。

障害に応じて作業の工夫をし、自信を持って取り組めるようにしています。仕事の時はもちろん、遊びやレクの時もパワー全開。メンバー１人１人が主人公になれる場面をつくり、お互いを大切にして協力しあうことをモットーとしています。

夢 21 上星川Ⅰ・夢 21 上星川Ⅲ

夢 21 上星川は、相鉄線『上星川駅』より徒歩約 5 分の場所で地域作業所として平成８年に開所しました。開所当時の通所者は 15 人から始まり、21 年が経過した現在では、障害福祉サービス事業所〈生活介護〉として 47 人の方々が通所され、仲間と共に社会的な自立を目指した日中活動に取り組んでいます。

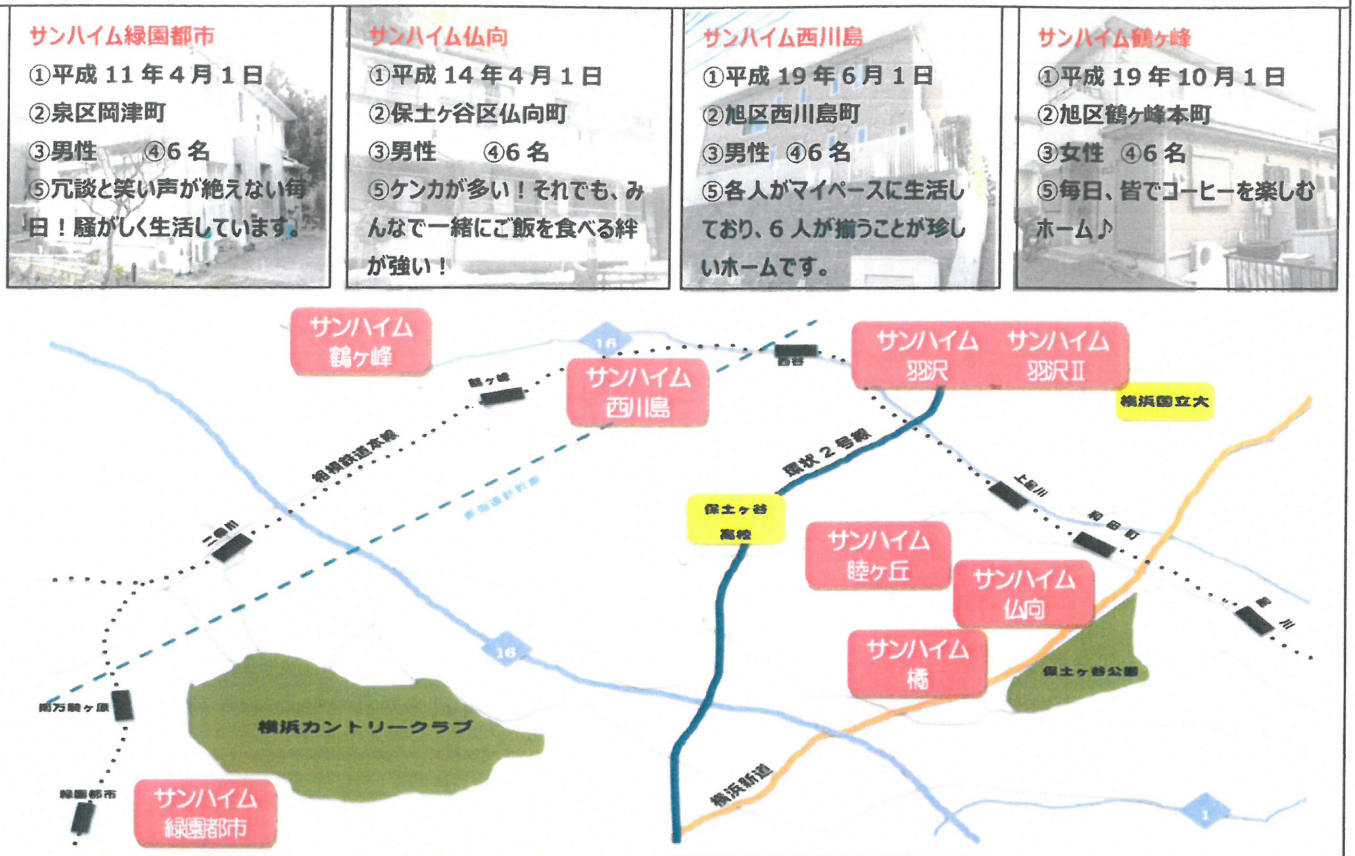
主な活動内容は、菓子箱等を組み立てる下請け作業を行っています。難しい作業の時もありますが、一人一人の『得意なこと・やりたいこと』を尊重し、少しずつ『出来ること』が増えていくように日々チャレンジしています。また、上星川は「元気が良い」「にぎやか」「アットホームな感じ」とよく周りから言われるほど、作業中にたくさん会話をしながらみんなで笑いあい、楽しく作業を行っています。「お喋りばかりしているんじゃないか？」と思われるかもしれませんが、会話が多い事はチームワークを良くします。忙しい作業の時は、声を掛けあい互いに助け合い、みんなで集中して作業ができるので、多い時で一日約 3000 箱も作ることができます。

会話大好き、元気いっぱいの夢 21 上星川です。

まどか工房

まどか工房は相鉄線・鶴ヶ峰駅周辺で活動をしている生活介護事業所です。事業所は全部で３ヶ所あり、それぞれで違う作業に取り組んでいます。第１作業所では製菓作業を行い、様々な種類のお菓子を作っており、中でも「コーヒークッキー」は旭区内で製造販売している“特に美味しい”商品に贈られる「あさひの逸品」に認定されています。第２作業所では下請け作業と喫茶店を行っています。下請け作業ではお菓子を入れる化粧箱を作る作業に取り組み、喫茶店ではまどか工房で作ったお菓子や他事業所の雑貨などを販売しており、フードメニューや、ケーキとドリンクが一緒に楽しめるお得なセットもあります。第３作業所ではお弁当作りの作業を行っています。主食・主菜・副菜２つ・漬物・デザートで構成されたバランスの良いお弁当です。ご注文を頂いた地域の方や他事業所からは「美味しかった」と嬉しい声を頂いております。まどか工房は「皆の色々な価値観を認め、許しあい、一緒に笑い、目の前にいる一人ひとりを大切にしていきたい」という思いを大切にしている事業所です。事業所が利用者にとっての“居場所”になる事を、今後も目指していきたいと思います。

夢 21 グループホーム　8 か所あるホームの紹介をします。①設立年月日②住所③性別④人数⑤一言ＧＨ紹介



サンハイム橋　設立の背景・現状

夢 21 ホーム統括責任者　山口　博之

サンハイム橋は 2017 年 3 月 31 日に開所しました。サンハイム橋を計画し始めたのは夢 21 西谷のご家族の声でした。ご主人の介護と息子の康行さんの両方をお母さん一人でみていた上原さんと、強いこだわりでお風呂に 3 時間、作業所に来るまでもお昼までかかってしまうなど、なかなか生活リズムがうまく作れない喜夛さんの二人から「グループホームに入りたい」という希望がきっかけでした。夢 21 西谷ができて 22 年が経ち、当時 20 歳だった青年も 42 歳の中年に。当時 50 歳だったご家族も 72 歳になっています。そういう意味では夢 21 西谷のメンバーさんがこの 3 年で 11 名もグループホームに生活の場を変えたのも 22 年という時間の経過を考えれば当然の事だったのだと思います。もう一人、まどか工房の鳴澤さんもサンハイム橋に入居されました。鳴澤さんはお父さんが亡くなって以来、お母さんが障害のある兄弟の生活や作業所までの送迎などをひとりでやっていました。しかしお母さんにも徐々に疲れがでてきたのか、車をぶつけてしまったことで送迎の不安が強くなりました。鳴澤さんの計画相談員からグループホームを勧められたこともあり、今回グループホームを希望されました。実は鳴澤さんは以前、サンハイム緑園都市に入居していましたが、その時はご本人が体調を崩してしまい一度退居した経験があったので、お母さんは「もう失敗したくない」と何度も話してくれました。現在、鳴澤さんは順調にホームで生活が出来ていることで、お母さんも少しホッとしてくれています。グループホームに入居する理由は様々です。グループホームに入りたくてしょうがないと思って入ってくる人はほとんどいません。みなさん入居しながら自分の生活を受け入れているような印象を受けます。そんな彼らが最近は作業所から帰ってくると、最初は言わなかった「ただいま」を言ってくれるようになりました。「ただいま」「おかえりなさい」このやりとりができるようになっていくと、少しずつ自分の「家」が実家からグループホームになっていくように思います。

夢21福祉会の利用者さん紹介

夢２１福祉会に所属している利用者は、日中事業所134名、ＧＨ49名いらっしゃいます。
夢21上星川、夢21西谷、まどか工房、夢21ホームの利用者の皆さんにインタビュー形式で話を聞いてみました。

質問①　入所・入居して何年目ですか？
質問②　好きなことや趣味、楽しみはありますか？
質問③　夢や願いごとはありますか？
質問④　あなたの目標は何ですか？
質問⑤　その他に伝えたいことはありますか？

夢21上星川

勝俣大輔さん

① 平成8年の開所より通い始めて今年で★21年目★です。
② 趣味のゲームは時間を決めて楽しんでいます。
スポーツ観戦も好きで『阪神』を応援しています。
③ 仕事が好きなので色々な作業にチャレンジしたいです。
④ 将来は幸せいっぱいな家庭を築きたいと思っています。
⑤ これからも好きな仕事を続けながら家族と過ごす時間を大切にしていきたいです。

夢21西谷

小川修二さん

① 11年目です。
② クロスワード、音楽（ＺＡＲＤ、大黒摩季）、テレビが好き。
休日は家でのんびりしたり、買い物をしています。
③ お金（お給料）がもう少し欲しいです。
④ 仕事をたくさんやることです。
⑤ 中学卒業後、車の部品加工や掃除の仕事をしてきました。
これからもみんなと仲良くやっていきたいです。

まどか工房

糸井康貴さん

① 18年目です。
② スポーツ観戦、野球が好きで、ベイスターズを応援しています。
③ 世界一周に行ってみたいです。
④ アルバイトをしてみたいです。
⑤ 僕が色々と困ったときには、街の方達に助けてもらいたいです。

夢21ホーム

相澤肇さん

① 18年7ヵ月（平成29年11月現在）です。
② 鉄道模型やナンプレ、時代劇や昭和のドラマをテレビで見ることです。
③ ホームで一泊旅行に行きたいです。
④ 健康になりたいです。
⑤ 病気を治したいと思っています。

〈地域〉仏向町のなりたち　　サンハイム睦ヶ丘が所在する仏向町睦ヶ丘自治会の会長根本稔さんに仏向町睦が丘地域の歴史を伺いました。

仏向町睦ケ丘自治会の移り変わり

初めに珍しい仏向町という地名の由来について簡単に説明します。正福院の住職「堯室（ぎょうしつ）」が初めて北条家を訪ねた折、願いがあれば申してみよ、と言われそれに対し和尚は、「唯常に仏に向ふこそ桑門の本意とする所なれば、寺の山号及びその村里にも仏向の二字をもて名づけ賜はるべし」と答えたという。つまり、出家の身で仏に向かうことのみが本意で何も願い事はないが、村里に仏向の二文字をもって名付けたいと申し出たことが名の起こりであると言われています。曹洞宗正福院は640年前の室町末期に起ったが、崖崩れで避難していた時代もあり、現在の正福院は約300年前の元禄2年当地に移転してきたとのことです。

当自治会のスタートは、1951年（昭和26年）犯罪が多発し、治安・防犯上の問題で防犯灯の管理活動から始め、1955年（昭和30年）里（現在の仏向町内会）と原（現在の睦ケ丘自治会）が発展的に分離独立し、仏向町睦ケ丘自治会が誕生しました。初代会長は、山本巳之助氏で小生は、第八代会長になります。横浜市の中心街にほど近く坂道が多いが眺望が良く、緑に囲まれた閑静な環境にあります。1970年（昭和45年）は世帯数が548で班の数が36、掲示板が4基でしたが、現在（2017年）は世帯数が947で班の数が78、掲示板が24基と大幅に拡大しております。1996年（平成 8年）には、矢シ塚公園が開園し、1997年（平成 9年）には、現在の自治会館が竣工し、アルミ缶回収がスタートし現在も続いています。また、睦ケ丘ニュース創刊号を発行しました。2000年（平成12年）には、むつみニュースとして全戸配布することにしました。盆踊り・花火大会は、1999年（平成11年）に始まり最近では「タウンニュース」でも紹介され年々人出が多くなっています。仕掛け花火の「ナイアガラの滝」は見事です。2005年（平成17年）には、福祉施設「仏向地域ケアプラザ」が開所され、翌年の2006年（平成18年）に第七代会長の高橋様が作詞した「仏向音頭、カチャカチャ音頭、仏向慕情」が、町内の心のよりどころとして誕生しＣＤ化され、盆踊り、施設訪問などで歌い踊っています。町内伝統行事であります「どんど焼き」は、2000年（平成12年）から矢シ塚公園で毎年1月 14 日に大勢の参加者のもと実施しています。長年の願いであった「市営ミニバス仏向原坂廻り」が2010年（平成22年）開通し、お年寄りの買い物などの足として便利になりました。福祉施設も2000年（平成12年）に「浜風」が開所し、その後、「グリーンウッド」「ダンボ」「ちいさな手 陽だまりの丘 横浜保土ヶ谷」「おきな草、福寿草」「サンハイム睦ケ丘」「サンハイム橘」と開所され7つの施設となりました。福祉施設は、自治会の賛助会員として入会していただき、自治会の諸行事にも参加してもらい一緒に活動しています。当自治会は今後も世帯数が増える傾向にあります。みんなが参加することによって個々人の絆を深め、安全で安心なまちづくりに努めて行きたいと思います。

どんど焼き

盆踊り・花火大会やぐら

仏向町睦ヶ丘自治会
会長根本稔さん

仏向町睦ケ丘自治会館

点火・団子を焼いている様子

仕掛け花火ナイアガラの滝

障害福祉をめぐる動き【介護保険優先原則・計画相談の状況】

夢 21 西谷施設長　石井幸治

介護保険優先原則

障害者総合支援法第７条では「介護保険優先原則」がある。障害福祉サービスを受けている障害者は原則、６５歳になると介護保険サービスに移行しなければならない。このため６５歳を境に自己負担が増えたり、サービス内容が変わって生活に影響が出たりする「６５歳問題」が生じている。現在、９割の人が障害福祉サービスを利用料負担なく利用できている。介護保険サービスは原則１割負担のため、利用者の金銭的負担が大きい。厚労省の調査では介護保険に移った人の平均負担額は 7183 円／月。障害福祉サービスを利用していた時の９倍という結果だった。福祉サービスの時間やリハビリの回数が減る事もあり、とても大きな課題となっている。きょうされんの調査では介護保険に切り替わった人の 21%が「サービスを打ち切られた」と答えた。2007 年、厚労省が「65 歳以上の障害者が介護保険だけでは福祉サービスが十分に受けられない場合、障害福祉サービスも併せて受けられる。」という通知を全国の自治体に出したが、具体的な対応は各自治体任せなので地域によるサービスの格差が出ている。障害福祉のグループホームで生活している人や、ヘルパーから支援を受けていた人が住み慣れたグループホームを退所したりヘルパーを変えなければならないケースがある。高齢障害者の負担軽減策もでているが、課題も多く軽度者切りともいえる。これまでと同じサービス、同じ事業所を利用できる事、どのような障害があろうと安心して暮らせるようになる事が必要だ。

●「高齢障害者の負担軽減策」要件

・65 歳になる前日までの５年間、
　障害福祉サービスの支給決定がされている事
・障害支援区分２以上　・低所得者、または生活保護受給者
・65 歳まで介護保険サービスを利用していない者

●問題点

・要支援 1.2 は負担軽減策の対象外。
　厚労省の調査では障害者が介護保険に移行した場合、約 31%の人が要支援 1.2 となる。上記負担軽減策の要件を満たしていても対象とはならない。
・償還方式（利用者が費用の全額をサービス提供事業者に一度支払い、その後、申請を行い保険者である市区町村から、費用の９割分の現金の償還(払い戻し）を受ける事。)一時的とはいえ全額を支払わなければいけない。

NHK　HPより

計画相談

計画相談とは障害福祉サービスを利用する時に必要な「サービス等利用計画(案)」を作成する事業。

横浜市では指定特定事業所による計画相談事業を推進している。しかし、実施事業所が少なく、すべての対象者が利用できる状況ではなかった。平成 27 年４月から支給決定には「サービス等利用計画(案)」が必要となるため、必要項目を盛り込んだ「サービス等の利用にかかる意向確認書」を区役所に提出する事で対応していた。

しかし、この「サービス等の利用にかかる意向確認書」による支給決定は、平成 30 年度末で終了になると市から説明があった。つまり平成３１年４月以降、計画相談を利用していないと、障害者総合支援法の法定事業は利用できない事になってしまう。

横浜市の計画相談の実施率は約 27%。横須賀市は 99%。地域によって実施率に大きな差がある。では、なぜ相談支援事業所が少ないのか。それは報酬が低く、相談支援事業所単独での事業継続が出来ないためである。この報酬単価の問題もあり、指定特定相談支援事業所や相談員の数が圧倒的に不足している。「サービス等利用計画(案)」の代わりに意向確認書を用いる事で、支給決定・受給者証の送付を行い、障害福祉サービス等を利用している人が安心して継続利用可能となっていたが、意向確認書の利用を平成３０年度末で廃止する事は利用者にとってとても大きな不安となっている。指定特定相談支援事業所に繋がらない場合、セルフプランを作る必要があるが、それにも支援が必要。このままでは、相談支援事業所に繋がらずセルフプランが作れない事で、現在利用している障害福祉サービスが継続できなくなってしまう。市作連（横浜市作業所連絡会）を通じて、横浜市へは継続利用できるよう柔軟な対応、特定相談支援事業所の質も保ちながら計画的な整備を依頼している。

■横浜市　現在の状況

・事業所数　166 か所(平成 29 年８月１日現在)　・障害福祉サービス等受給者数 20,907 人(平成 29 年６月実績)

理事長挨拶　　社会福祉法の改正について

（社福）夢21福祉会 理事長　佐藤文明

日頃、夢21福祉会の事業運営につきましては、利用者、家族、地域、関係者の皆様には、ご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございます。

おかげ様で1995年に作業所としてわずか利用者20名でスタートした夢21福祉会（2007年社会福祉法人格取得）の事業も、現在、夢21上星川、夢21西谷、そしてまどか工房の日中系事業所を合わせると利用者合計134名、そしてグループホームは8か所入居者合計49名と市内でも決して小さいとは言えない社会福祉法人にまで成長してまいりました。障害を持つ方々が「街の中」で安心して暮らしていく為には地域の方々のご理解とご協力が無くしては実現できません。法人機関紙の発行に際して改めて心より感謝申し上げるとともに今後も地域の一員として社会福祉法人夢21福祉会として地域に貢献していく覚悟でおりますので、宜しくお願いいたします。

これまで上星川、西谷、まどか工房の日中系事業所では事業所ごとに利用者・家族、地域の方々に向けた広報紙を定期的に発行してきましたが、夢21福祉会全体の広報紙はありませんでした。改正社会福祉法の2017年4月施行をうけ、家族、関係者より「社会福祉法の改正の経緯や法人全体の動きなどが見えにくい」とのご指摘を頂き、今後は夢21福祉会の法人広報紙を年数回発行することとなりました。

今回の社会福祉法の最大の改正点は今まで理事会の諮問機関であった評議員会が、改正後は法人の最高意思決定機関となったことです。しかし改正前の評議員会は利用者・家族が参加し発言できましたが、改正後の評議員会は職員も含め原則参加する事は出来なくなりました。改正後の理事会は評議員会で決められた事項を実現するための執行機関となりました。評議員会が法人の最高意思決定機関になるため、その選任が大変重要となります。下記に新しい評議員、理事、監事の皆様を紹介させて頂きますが基本的には今までの理事と評議員の中から委嘱させていただきました。

法人の大切な舵取り役を担って頂きますので、皆様もご承知おき頂きたいと思います。

社会福祉法人夢21福祉会の役員の紹介

■評議員会　（敬称略）

・金邊　雅彦	（社福）紡　事務長	（旧理事）
・宮坂　俊彦	（社福）ひかり　後見的支援室とつかエコー　職員	（旧監事）
・早坂　信一	NPO法人きてん　ほどがや希望の家 施設長	（旧評議員）
・犬飼　知子	西谷地区 民生児童委員	（旧評議員）
・中澤　正夫	代々木病院 精神科医	（新任　きょうされん全国大会実行委員長）
・鈴木　敏彦	和泉短期大学　児童福祉学科教授	（新任　夢21福祉会人権研修講師）
・海原　泰江	（社福）あまね　理事長	（新任　神奈川県作業所連絡会会長）

■理事会

・理　事　長	佐藤　文明	（社福）夢21福祉会　理事長	（旧理事）
・業務執行理事	岩山みどり	（社福）夢21福祉会　業務執行理事	（旧理事）
・理　　事	市村　栄子	坂本地区 児童民生委員	（旧理事）
・　〃	作山　良江	（社福）同愛会　空とぶくじら社施設長	（旧理事）
・　〃	大塚　幸三	（社福）瀬谷はーと　せや活動ホーム太陽施設長	（旧理事）
・　〃	石田　朗大	（社福）夢21福祉会　事務長	（旧理事）
・監　　事	伊藤　正孝	伊藤正孝税理士事務所　所長	（新任）
・　〃	荒　井　忠	（社福）偕恵園　いわまワークス施設長	（旧監事）

以上の方々に評議員、理事、監事を委嘱いたしましたのでご承知ください。

★☆職員紹介のコーナー★☆

夢 21 福祉会の職員に聞いてみました。この仕事についたきっかけ、これまでの経歴、この仕事に感じる所、生まれ育った地元ならではの『お国自慢』を紹介します♪♪

夢２１上星川　村井友樹さん

支部まつりを盛り上げる
MC 村井～Yeah♪

上星川職員の村井友樹です。前職のサラリーマンから転職して 4 年が経過しました。前職で障害を持った方々に書類整理などの仕事を手伝ってもらい、彼らの能力の高さや人柄に惹かれて、少しずつこの業界に興味を持つようになりました。上京した頃は 2 年ぐらいでビッグになって京都に舞い戻る予定でしたが、転職や結婚を経て気付けば 8 年が過ぎ、今では標準語と関西弁のバイリンガルとなりました。

さて、ここからは依頼されたお国自慢をしたいと思います。みなさんは京都といえば何をイメージしますか？清水寺、金閣寺、八坂神社、祇園祭、五山送り火、北大路欣也さんなどが挙げられると思います。私が生まれ育った京都府の八幡市というところには、石清水八幡宮というものがあります。初めて耳にされる方も多いと思いますが、これは神奈川県の鶴岡八幡宮、大分県の宇佐八幡と並び日本三大八幡宮とされており、平成 28 年には国宝に認定されています。また、この近くにある小谷食堂というお店の「カレー中華」は八幡のソウルフードと言われており、「ごぶごぶ」という番組でダウンタウンの浜田雅功さんもおいしいと絶賛されていました。京都府の中でもかなりマイナーな八幡市ですが、京阪電車に乗るついでも構いませんので、機会があればぜひ立ち寄っていただけたらと思います。

ソウルフード：カレー中華

まどか工房　種市朋子さん

ちびっこスキーヤー種市さん

安代町：のどかな田園風景

お国自慢をしてください！と依頼を受け、岩手と言えば中尊寺？宮沢賢治？福田パン？と自慢はいくつも出てきますが・・・とりあえずは私が育った町のことを語りたいと思います。私は、岩手県の北にある安代町（現：八幡平市）という田舎町で育ちました。12 月に雪が降るとそこから 3 月までは雪で地面が見えず、三度の飯より雪かきをしないと家が雪で埋もれてしまうようなところでした。（今は昔ほど降らなくなったようですが。）全国有数の雪質を誇る『安比スキー場』もわが町にあり、毎週のように滑りに行っていた思い出があります。

そんな雪国育ちの私は、小学生の時に一人暮らしのお年寄りの家に行って雪かきをするというボランティアをしていました。その頃から、福祉に興味を持っていた…とは言えませんが、お年寄りの方とたわいもない話をするのが大好きな時間だったのは覚えています。そんな私ですが、福祉をもっと知りたいと思って、漠然と 7 年間務めた高齢者介護から障害者支援の仕事に転職してきました。夢２１福祉会と出会ったのも障害者施設の求人を探していたからでした。今は日々、利用者と向き合い勉強している毎日です。一生懸命働いて、たまに帰る岩手は自然が癒してくれて、また頑張ろうって気持ちになります。『そんな岩手さ、一度はぜひともおでってくなんせ～。』

社会福祉法人夢 21 福祉会
〒240-0043
神奈川県横浜市保土ヶ谷区坂本町 128FKD ビル 102
ＨＰ：　http://swcyume21.web.fc2.com/

発行）　社会福祉法人　夢 21 福祉会
編集）広報誌委員会
佐藤文明　石井幸治　村井杏子
中村利樹　牟禮晃矢